

2024年5月8日(水)第二水曜祈祷会

出エジプト記24章1～18節

『契約の血』

【23章までの振り返り】

【24章の観察と黙想】

1. 契約の批准(24章1～11節) *いよいよ神と民との間における契約が結ばれる。

①モーセが主のすべてのことばと定めを告げると、民はどのように答えましたか。

→

②民の答え(同意)を受けて、次にモーセは何をしましたか。

→

③翌朝早くモーセは祭壇を築いて、そこで何を献げましたか(2つ)。

→

④モーセがいけにえの血を、祭壇と民に半分ずつ振りかけたのは、どんな意味がありますか。

→

⑤神は契約を通して何を約束し、民は何を約束しましたか。

→

⑥民を代表する74名は神ご自身を見て、何をしましたか。

→

2. 幕屋のための指示に向けた備え(24章12～18節) *シナイ山に主の栄光が現れる。

①契約が結ばれた後、主は何のためにモーセを招きました。

→

②モーセはだれと一緒に神の山に登っていきましたか。

→

③モーセたちが不在の間の務め(相談役)を、だれとだれに託しましたか。

→

④モーセが山に登ると、どんな現象がありましたか。それは何を象徴していますか。

→

⑤主の栄光の現れは、イスラエルの民の目にはどんな光景に映っていましたか。

→

⑥モーセは雲の中に入って行き、どのくらい山にいましたか。どんな思いだったのでしょうか。

→

【適用と分かち合い】

①旧約時代の契約は、今日の私たちにとってどんな意味がありますか。

②イエスキリストの「これは…契約の血」(マタイ26:28)とのことばにはどんな意味がありますか。